

日蓮仏教の「再歴史化」へ

法華諸派、宗派の壁越え学び合う

法華「コモンズ」のめざすもの

東洋大名教授
法華コモンズ仏教学林理事長 西山 茂

「法華コモンズ仏教学林」の学
是は、日蓮仏教の「再歴史化」
(具体的には現代的蘇生)であ
る。当学林は、10年前に、法華宗
諸派や日蓮宗諸派・日蓮系新宗教
などの宗派横断的な学び舎として
創られた。宗派横断的なことを
捉えて、「コモンズ」という。

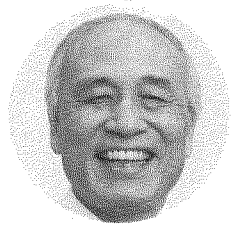
もともと「コモンズ(Communi-
ty)」とは、入会地、具体的には共
有地とか共有林のこと。15世紀
末から19世紀前半のイギリスで2
度起こった労働力移動の観点から
資本主義成立の淵源となったとい
われている「エンクロージャー」
によって、共有の耕地や林・原野
などから追い払われた農民たちの
もの入会地を意味していた。入
会地は、共有で生活する農耕共同
体の名残である。

つまり「コモンズ」と名乗るの
は、この学林が法華の共有地とし
て、宗派の壁を越えて共に集い合
う場であることを表している。そ
こで、あらためて「法華コモンズ
仏教学林」のめざすものについて
考えてみたい。

1. 日蓮仏教は社会成仏の
宗教
当学林の目的は、日蓮遺文その



る「安国」(仏国)の成就。社会
成仏にあることは明らかである。
日蓮仏教の場合の個人成仏と
は、身口意三業にわたる題目受持
による名字即の成仏である。これ
を証す日蓮遺文はあまたあるが、
(潜在的人間力回復運動)とも無



にしやま・しげる氏(1942
年、埼玉県生まれ。東京教育大
学院文学研究科社会学専攻博士課
程単位取得満期退学。東洋大社会
学部教授を経て、現在、東洋大名
教授、法華コモンズ仏教学林理
事長。専門は宗教社会学。共編著に『新宗教事典』(弘文
堂、90年)、『現代人の宗教』(有斐閣、88年)、『リーディ
ングス日本の社会学』第19巻・宗教(東京大学出版会、
86年)、編著『近現代の法華運動と在家教団』シリーズ日
蓮第4巻(春秋社、2014年)、単著『近現代日本の法
華運動』(春秋社、16年)など。

にしま・しげる氏(1942
年、埼玉県生まれ。東京教育大
学院文学研究科社会学専攻博士課
程単位取得満期退学。東洋大社会
学部教授を経て、現在、東洋大名
教授、法華コモンズ仏教学林理
事長。専門は宗教社会学。共編著に『新宗教事典』(弘文
堂、90年)、『現代人の宗教』(有斐閣、88年)、『リーディ
ングス日本の社会学』第19巻・宗教(東京大学出版会、
86年)、編著『近現代の法華運動と在家教団』シリーズ日
蓮第4巻(春秋社、2014年)、単著『近現代日本の法
華運動』(春秋社、16年)など。

「不軽精神」で仏国づくり

社会成仏へ四菩薩プロジェクト

しかし、日蓮仏教は、来世往生
成仏にあることは明らかである。
を願う仏教や、人間に内在する
「仏性」のみに注目して「教」(仏
は、身口意三業にわたる題目受持
種)を見ない野狐禅や、ヒューマ
ン・ポテンシャル・ムーブメント
(潜在的人間力回復運動)とも無

縁である。日蓮仏教は、個人の救
済のみではなく、あくまでも法華
経に依拠した「社会成仏」をめざ
す仏教である。

日蓮遺文に、「命限り有り、惜
しむべからず。遂に願うべきは仏
国なり」(富木入道殿御返事)。
真蹟なし、録外)とある。これに
ついて、花野充道『法華仏教研
究』(誌主幸)は、「真蹟なし」で
はあるが、日蓮仏教の特質を表わ
した明文として、次のように紹介
している。

「日蓮の宗教の特質を一言で言
えば、『安国を実現するために立
正の戦いをする』という論理であ
る。悟りを求めて、一念三千の観
念観法を修しているだけでは、現

代において、宗教として社会
主義や共産主義が究極的に目指し
た共通のものは、「理想の共同
体」だろう。この理想の共同体
は、古い共同体的拘束に束縛され
ない「自由な個人」によって構想
されてきた。この「自由な個人」
とは、近代の資本主義体制下で育
まれてきた個人にほかならない。
しかし、今こうした理想の共同
体を構想して実現するためには、
よほど練達した「個人」(人間

の集まりが必要となるだろう。そ
して、その理想の実現に必要なと
るべき宗教的規範として、通仏教の
「慈悲心」、最澄の「忘己利他」の
心、特に法華経や日蓮の「不軽
精神」があげられる。

2. 日蓮仏教と法華コモン
ズがめざすもの―「不
軽精神」による仏国づ
くり―

「義は強く言やはらかに身を下る
これぞ不軽の折伏と知れ」とい
う言葉がある。

迫害の瓦石が飛び中での不軽菩
薩の「汝を深く敬う」姿は、戦後
80年を迎える日本の国民と国家の
進むべき道を、いま現在も示して
いる。これを、故・望月哲也(元
立正大学教授)は、「常不軽国家
日本の建設」と言っていた。

3. 四菩薩プロジェクトの
実践を通して

最後に、筆者が考える日蓮仏教
徒と「法華コモンズ仏教学林」関
係者がめざすべき「理想の共同
体」づくりのための「四菩薩プロ
ジェクト」を紹介したい。

「四菩薩プロジェクト」とは、
筆者が「本化ネットワーク研究
会」(法華コモンズ仏教学林の前
身)の指針として最初に示したも
ので、筆者は2008年に開かれ
た日蓮宗の第41回中央教化研究
会(基調講演で、この構想を語っ
ている。それによれば、その内容
は、あらまし次のようなものであ
った。

周知のように、法華経の予言で
は、上行・無辺行・浄行・安立行
の四菩薩が仏滅後の末法に現れ
て、濁世の世を救うという。「四
菩薩プロジェクト」も、その予言
に由来している。

その四菩薩のうち、上行菩薩が
すべての行を代表している(「総
行」)が、これを各別して考える
と、その役割を分担した四つの菩
薩行(別行)と考えることもで
きる。以下に、社会的活動の諸分
野と絡めて、四つの別行の分担を
簡単に紹介しておこう。

また、本門佛立宗を開いた長松
日扇がのこした教歌のひとつに、

「立正安国」実現の願いについ
ては、『立正安国論』をはじめ、
これを証する日蓮遺文は、実に多
数ある。

「立正安国」実現の願いについ
ては、『立正安国論』をはじめ、
これを証する日蓮遺文は、実に多
数ある。

「立正安国」実現の願いについ
ては、『立正安国論』をはじめ、
これを証する日蓮遺文は、実に多
数ある。

「立正安国」実現の願いについ
ては、『立正安国論』をはじめ、
これを証する日蓮遺文は、実に多
数ある。

「立正安国」実現の願いについ
ては、『立正安国論』をはじめ、
これを証する日蓮遺文は、実に多
数ある。

「立正安国」実現の願いについ
ては、『立正安国論』をはじめ、
これを証する日蓮遺文は、実に多
数ある。

「立正安国」実現の願いについ
ては、『立正安国論』をはじめ、
これを証する日蓮遺文は、実に多
数ある。

「立正安国」実現の願いについ
ては、『立正安国論』をはじめ、
これを証する日蓮遺文は、実に多
数ある。

「立正安国」実現の願いについ
ては、『立正安国論』をはじめ、
これを証する日蓮遺文は、実に多
数ある。

「立正安国」実現の願いについ
ては、『立正安国論』をはじめ、
これを証する日蓮遺文は、実に多
数ある。

「立正安国」実現の願いについ
ては、『立正安国論』をはじめ、
これを証する日蓮遺文は、実に多
数ある。

「立正安国」実現の願いについ
ては、『立正安国論』をはじめ、
これを証する日蓮遺文は、実に多
数ある。

「立正安国」実現の願いについ
ては、『立正安国論』をはじめ、
これを証する日蓮遺文は、実に多
数ある。

「立正安国」実現の願いについ
ては、『立正安国論』をはじめ、
これを証する日蓮遺文は、実に多
数ある。

「立正安国」実現の願いについ
ては、『立正安国論』をはじめ、
これを証する日蓮遺文は、実に多
数ある。

「立正安国」実現の願いについ
ては、『立正安国論』をはじめ、
これを証する日蓮遺文は、実に多
数ある。

「立正安国」実現の願いについ
ては、『立正安国論』をはじめ、
これを証する日蓮遺文は、実に多
数ある。

「立正安国」実現の願いについ
ては、『立正安国論』をはじめ、
これを証する日蓮遺文は、実に多
数ある。

「立正安国」実現の願いについ
ては、『立正安国論』をはじめ、
これを証する日蓮遺文は、実に多
数ある。

「立正安国」実現の願いについ
ては、『立正安国論』をはじめ、
これを証する日蓮遺文は、実に多
数ある。

「立正安国」実現の願いについ
ては、『立正安国論』をはじめ、
これを証する日蓮遺文は、実に多
数ある。

「立正安国」実現の願いについ
ては、『立正安国論』をはじめ、
これを証する日蓮遺文は、実に多
数ある。

「立正安国」実現の願いについ
ては、『立正安国論』をはじめ、
これを証する日蓮遺文は、実に多
数ある。

「立正安国」実現の願いについ
ては、『立正安国論』をはじめ、
これを証する日蓮遺文は、実に多
数ある。

「立正安国」実現の願いについ
ては、『立正安国論』をはじめ、
これを証する日蓮遺文は、実に多
数ある。

「立正安国」実現の願いについ
ては、『立正安国論』をはじめ、
これを証する日蓮遺文は、実に多
数ある。

「立正安国」実現の願いについ
ては、『立正安国論』をはじめ、
これを証する日蓮遺文は、実に多
数ある。

理想の共同体へ個人練達